

第4回霞ヶ浦流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

実施日：平成30年5月29日(火)14:00～15:30

場 所：レイクエコー茨城県鹿行生涯学習センター・茨城県女性プラザ 1階大研修室

出席者：土浦市長（代理）、石岡市長（代理）、龍ヶ崎市長、鹿嶋市長（代理）、潮来市長、稲敷市長（代理）、かすみがうら市長（代理）、神栖市長（代理）、行方市長（代理）、鉾田市長（代理）、美浦村長、阿見町長（代理）、河内町長（代理）、利根町長（代理）、香取市長（代理）、稲敷地方広域市町村圏事務組合管理者（代理）、茨城県防災・危機管理部防災・危機管理課長、茨城県土木部河川課長（代理）、水戸土木事務所長、潮来土木事務所長、土浦土木事務所長、鉾田工事事務所長（代理）、竜ヶ崎工事事務所長（代理）、千葉県防災危機管理部危機管理課長（代理）、千葉県県土整備部河川環境課長（代理）、香取土木事務所長、水戸地方気象台長、鉾子地方気象台長、（独）水資源機構利根川下流総合管理所長、国土交通省霞ヶ浦河川事務所長

（1）開催状況



（2）協議会内容

- ・規約改訂について
- ・幹事会の報告について
- ・取組の進捗状況及び代表事例について
- ・水害対応に係るビデオ上映

（3）協議結果

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく「霞ヶ浦流域大規模氾濫に関する減災対策協議会」を構成する31機関が、平成29年度に実施した内容を整理し取組の進捗状況を取りまとめるとともに、取組時期や取組内容を具体的に明示し、より良い方向に見直す等のフォローアップが図られた。

また、協議会における更なる連携と協働による取り組みについて、幹事会等を通じて議論することとした。

（4）主な意見等

- ・夜間の避難は大変危険であるため、避難勧告等は明るいうちに早期に出すようにしている。気象庁から派遣された気象予報士の意見が指示等の判断に役立った。
- ・災害発生時に「逃げない人」に対して、いかに身の危険を感じてもらって避難してもらうかということに力を注いでいきたい。
- ・今年度、防災行政無線を整備するよう予算を計上した。